

2018年 安全報告書



目 次

1. はじめに	1
2. 輸送の安全を確保するための基本的な方針等	2
(1) 安全方針	2
(2) 平成 29 年度安全重点施策の結果	3
(3) 平成 30 年度安全重点施策の策定	4
(4) 平成 30 年度安全・サービス・原価低減行動指針	5
3. 安全管理体制と仕組み	6
(1) 安全管理体制の構築	6
(2) 責任者と役割	7
(3) 情報伝達・コミュニケーションの確保	7
(4) 内部監査	8
4. 鉄道運転事故、輸送障害について	9
(1) 鉄道運転事故	9
(2) 輸送障害	10
5. 安全・安心への取組みについて	11
(1) 駅の安全対策	11
(2) 踏切道の安全対策	12
(3) 車両の安全対策	14
(4) 社員の教育、育成、管理	15
(5) 安全対策事業	18
(6) 福井駅付近連続立体交差事業（えちぜん鉄道高架化事業）	19
6. お客様、沿線の皆様とともに	20

1. はじめに



えちぜん鉄道株式会社

代表取締役社長 豊北 景一

日頃より、えちぜん鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。また、沿線地域の皆様におかれましては、利用促進活動に多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は平成15年の開業以来、鉄道事業の基本である「輸送の安全の確保」を会社の最重要課題と位置づけ、お客様の安全と信頼にお応えすべく、日々安全への取り組みに注力して参りました。おかげさまで、平成29年度は過去最高の360万3千人（前年度比約44千人増）のお客様にご利用いただきました。これもひとえに、ご利用いただいておりますお客様をはじめ、国や県および沿線自治体の施設整備に対するご支援、サポート団体をはじめとする沿線地域皆様の電車利用促進活動の賜物と改めて感謝申し上げます。

今後も、皆様方のご支援と信頼にお応えすべく、お客様や地域の皆様にとって心から安心できる鉄道となるよう真摯に努力を続けて参ります。

最後になりますが、弊社は平成30年10月に全線開業から15周年を迎えます。開業からの皆様のご厚情に改めて感謝申し上げるとともに、今後も末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、平成29年度における「輸送の安全の確保」に関するえちぜん鉄道の取り組み結果を皆様にご覧いただくために作成いたしました。

ご覧いただき、皆様のご意見やご感想をいただければ幸いです。

2. 輸送の安全を確保するための基本的な方針等

- (1) 平成18年10月1日に「安全管理規程」を策定し、輸送の安全を確保するための全体的な意図及び方向性を示す基本的な方針「安全方針」を定め、経営トップ以下全社員が一致団結して輸送の安全確保に努めています。

安 全 方 針

1. 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
4. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義あるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
5. 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。

「安全方針」に関しては、毎年度初めの経営方針説明会において、経営トップならびに安全統括管理者から全社員に周知しています。

更に、現業実施部門における指導訓練会及びミーティングにおいては、次の安全重点施策も含み落とし込み、全社員に対して安全最優先の徹底を図っています。



- (2) 安全方針に沿い、安全に関する具体的な問題解決（前年度の問題点や課題、単年度、中長期的な問題解決等）に向け、組織全体、部門において、輸送の安全に関する目標を策定し、これを達成するための具体的な取り組み計画「安全重点施策」を定めています。

平成29年度安全重点施策の実施結果

社員が原因による鉄道運転事故、インシデントならびに輸送障害（列車の運休や30分以上の列車遅延）を「責任事故」と定め、常に意識して取り組んでいます。

安全目標

責任事故“ゼロ”
運転士の運転取扱い誤り“ゼロ”
ホームにおける事故“ゼロ”
労働災害“ゼロ”
踏切障害事故5割減
部内原因による輸送障害5割減

安全重点施策

1. 怠ることのない地道な努力
2. 安全意識の向上と安全最優先の環境づくり
3. 福井鉄道と共同取り組みと共通認識

安全標語：「安全第一」への責任と自覚

平成29年度は、「安全第一」への責任と自覚を安全標語と定め、安全第一を最優先に考え・行動し、お客様から安心・信頼いただける鉄道会社を目指し取り組みました。

その結果、安全目標である責任事故“ゼロ”、ホームにおける事故“ゼロ”、労働災害“ゼロ”、踏切障害事故5割減、部内原因による輸送障害5割減を達成することが出来た反面、インシデントには該当しませんでした。が運転士によるミスや情報が速やかに、正確に、正直に報告できなかった等の課題を残しました。

(3) 平成30年度安全重点施策の策定

安全目標

お客様が死傷する列車事故 “ゼロ”
責任事故 “ゼロ”
労働災害 “ゼロ”
異常運転等報告届 “ゼロ”
ホームにおける鉄道人身障害事故 “ゼロ”
踏切障害事故 5割減
部内原因による輸送障害 5割減

安全重点施策

1. 安全・安定した輸送を実現するための弛まぬ努力
2. 安全意識の向上と安全最優先の環境づくり
3. 安全・安定した輸送を実現するための安全投資・安全対策

安全標語：「安全第一」実現のための弛まぬ努力

[めざす状態]

- ・ 「決められた速度を守る」「手続きを省略しない」「おく測による作業をしていない」など、ルールや基準・手順を遵守している。
- ・ 一人ひとりが使命感を持ち、それぞれの立場で役割を誠実に実行し、安全最優先を自ら考え、行動することができている。
- ・ 必要な施設・設備を保守すると共に、老朽化した施設・設備を更新する。

など、ソフト面・ハード面において、「安全第一」実現のための弛まぬ努力を図ってまいります。

(4) 平成30年度「安全・サービス・原価低減」行動指針

企業理念 事業の目的と使命 地域・社会との信頼を基本におき、お客様への安全性・利便性・快適性を通して、地域共生型サービス企業をめざします。 企業方針 ・ お客様サービスを第一に考えます。 ・ 沿線地域と交流するネットワークを創ります。 ・ 自己責任を果たし、自立する企業をめざします。 ・ 夢と希望のある企業にします。	平成30年度 安全・サービス・原価低減行動指針 安全行動指針 ・ 私たちは、一人ひとりが果たすべき役割の重要性を認識し、「自ら考え」行動します。 ・ 私たちは、安全・安定輸送を実現するため、たゆまぬ努力を続けます。 ・ 私たちは、双方向のコミュニケーションにより、情報を的確に報告・共有し、「安全文化」を作り上げます。 サービス行動指針 ・ 私たちは、「身だしなみ」「態度」「言葉遣い」のすべてにおいて清潔感あるサービスを実行します。 ・ 私たちは、お客様目線に立った行動と判断を心がけ笑顔あふれる接客を行います。 ・ 私たちは、一人ひとりが責任と信頼ある対応を実践し、個人と組織の成長を目指します。 原価低減行動指針 ・ 私たちは、自ら改善・実行する組織文化を作ります。 ・ 私たちは、現場・現実・現物を直視しながら、広い視野で問題解決にあたります。 ・ 私たちは、時間を意識して結果を出すことを目指します。
---	--

自己目標 部署 _____ 氏名 _____	企業理念 行動指針  えちぜん鉄道株式会社
--	--

平成30年度の安全重点施策が決定し、「安全・サービス・原価低減」行動指針を策定しています。日々本社での朝礼、指導訓練会及びミーティングにおいて唱和し、意識付けを図っています。

更に、職場での掲示ならびに個人に携帯させ、いつでも確認ができるようにしています。

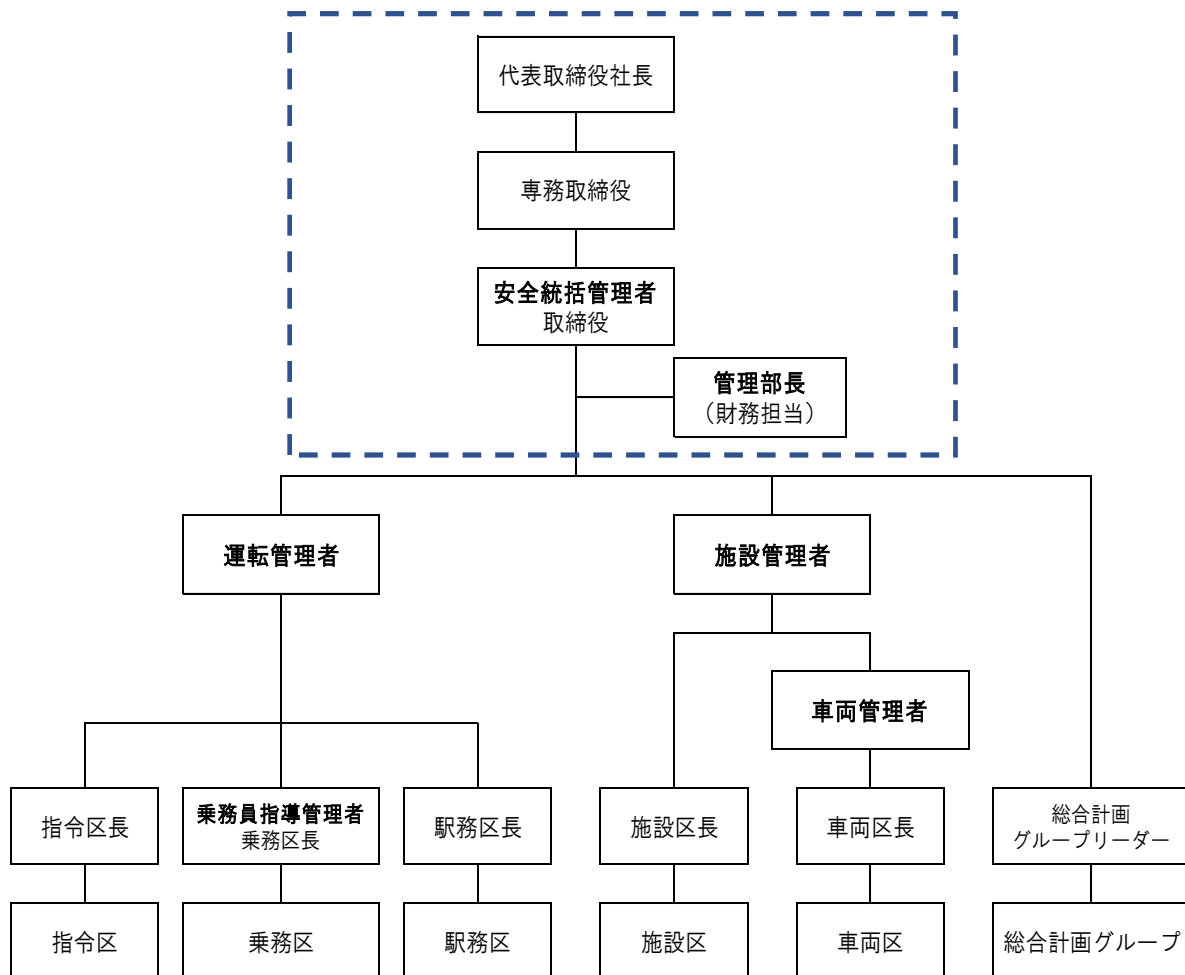


3. 安全管理体制と仕組み

(1) 安全管理体制の構築

輸送の安全の確保に関し、社長をトップとする組織体制を構築し、責任者の役割及び権限を明確にした組織体制としています。

[輸送の安全の確保に関する組織体制図]



1. 太字破線枠内は、事業運営上の重要な決定に参画する地位の者を示す。
2. 太字管理者は、安全管理規程に基づき選任する役職を示す。

(2) 責任者と役割

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の下、車両に関する事項を統括する。
管理部長	設備投資、財務、人事に関する事項を統括する。

(3) 情報伝達・コミュニケーションの確保

月一回の安全対策委員会・安全衛生委員会、改善提案・K Y 提案委員会、福井鉄道・えちぜん鉄道連絡会議、必要に応じて運輸・技術コミュニケーション会議を開催し、組織の縦方向・横方向のコミュニケーションを確保しています。

更に、社長・安全統括管理者は、国が定めた「年末年始の輸送等に関する安全総点検」(期間：12月10日～翌1月10日)においては積極的に現場に出向き、安全作業の取組み状況や社員とコミュニケーションを図り、安全性の向上ならびに安全意識の高揚を図っています。

[安全対策委員会・安全衛生委員会]



この会議では、

- ・災害事故や故障等が発生しないようにするための対策に関する事項
- ・発生してしまった災害事故や故障に対する原因の調査及び再発防止に対策に関する事項
- ・他社での事故情報をもとに当社での調査及び未然防止対策に関する事項
- ・梅雨期・台風期の安全対策に関する風水害対策、雪害対策や夏季輸送に関する事項

等について、区長以上で協議し、決まった事項については持ち帰り、指導訓練会又はミーティングで落とし込み、輸送の安全確保に努めています。

(4) 内部監査

安全管理体制の構築・改善の取組みに関する事項を確認するために、年一回、年末年始の輸送等に関する安全総点検期間に合わせ実施しています。

- ・ 経営管理部門は「現場の実態を踏まえた施策を実施しているか」
 - ・ 現業実施部門は「安全に係わるルールが遵守され、その徹底が図られているか」
- 等、監査員がチェックを行い、安全管理体制上の課題や問題点等を明らかにすることを目的としています。

なお、「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」をもとに実施し、社長・安全統括管理者及び必要に応じて現業実施部門に対して行い、輸送の安全管理体制の有効性の確認を行っています。



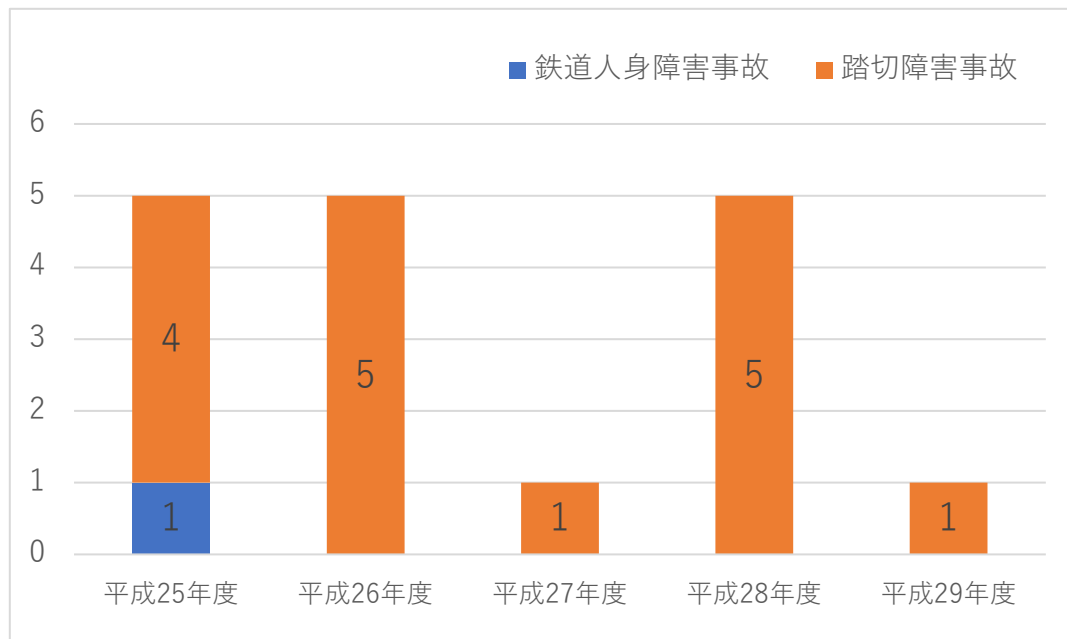
内部監査の結果は、監査員が所見、指摘事項及び是正要求を取りまとめた上で、運転管理者を通じて安全統括管理者へ報告するとともに、経営トップも参加する週部長会議へ報告します。指摘や是正要求の事項については、管理者等が改善を行いフォローアップする形をとっています。



4. 鉄道運転事故、輸送障害について

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。



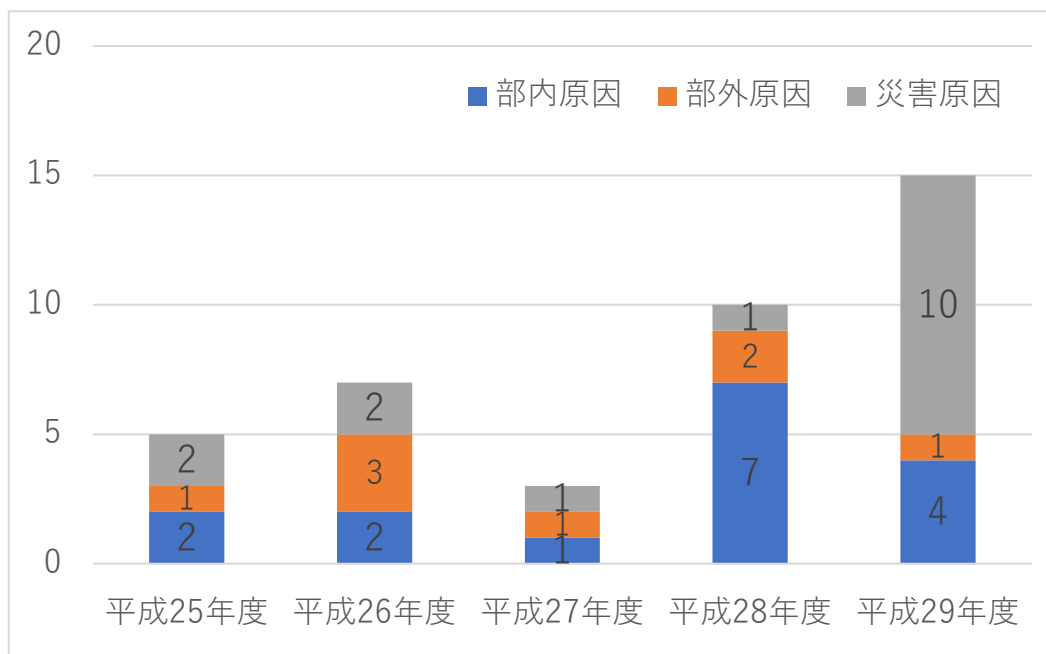
平成29年度における踏切障害事故1件は、警報機が鳴動後に自動車の無理な進入により閉じ込められたことが原因によるものです。

[えちぜん鉄道からのお願い]

- ➡ 踏切手前では、一旦停止し、左右の安全を確認してからお渡り下さい。
- ➡ 非常ボタンが設置されている踏切で異常を発見した場合には、直ちに非常ボタンを押してください。
- ➡ 警報機が鳴動したら、踏切には進入しないで下さい。万が一、車が踏切内に閉じ込められた場合には、車で遮断桿を押し出し、速やかに踏切の外へ逃げ出してください。

(2) 輸送障害

輸送障害とは、前述の鉄道運転事故を除き、列車の運転を休止したもの又は旅客列車にあっては 30 分以上の遅延を生じたものをいいます。



部内原因	鉄道施設・設備、車両等の故障が原因のものをいう
部外原因	踏切支障、列車支障、保安装置障害等、人又は物により列車が支障したもの又は設備・車両が被ったことをいう
災害原因	水害・風害・雪害・震害・雷害・落石・倒木等が原因のものをいう

平成29年度の部内原因は、目標であった5割減を概ね達成できたものの、災害原因に関しては、8月の集中豪雨、10月の台風21号、1月及び2月の記録的な大雪等、自然災害により列車の運休が多数発生した年となりました。

[8月 集中豪雨]



[2月 記録的大雪]



5. 安全・安心への取組みについて

(1) 駅の安全対策

駅施設における安全性の向上に向け、ハード面では列車非常停止装置や内方線付き点状ブロック、階段の手すりの改善、ソフト面ではお体の不自由な方へのお声かけ等、お客様が安全で安心して利用できる「駅」に向けて取り組んでいます。

【列車非常停止装置】

[列車非常停止通報ボタン]



[列車非常停止警報機]

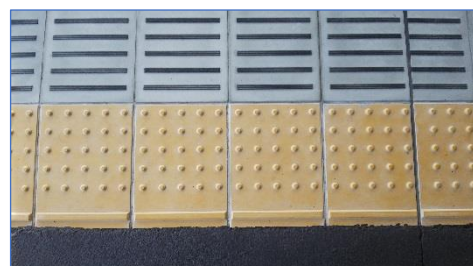


ホームからの転落を目撃した場合において、列車非常停止通報ボタン押すと、列車非常停止警報機が鳴動・点滅し、駅構内での異常を運転士に知らせる仕組みとなっています。

【内方線付き点状ブロック】



目の不自由な方のホームからの転落防止対策として、線上の突起を付けてホーム中央の方向を知らせる点字ブロックの設置を進めています。



【ホーム階段の安全性の向上】



高齢者ならびにお体の不自由な方からのご意見・ご要望をいただき、2駅において、より安全性を高めるため、階段の手すりの改修・移設を行いました。

（２） 踏切道の安全対策

前述の鉄道運転事故を見てもわかるように、当社では、踏切障害事故が大半を占めています。踏切保安設備の更新・整備、啓発・広報活動を通して踏切事故防止に努めています。

【第3種踏切道から第1種踏切道への更新】



当社では、135の踏切道が在ります。第1種踏切道（警報機あり、遮断機あり）が100箇所、第3種踏切道（警報機あり、遮断機なし）が11箇所、第4種踏切道（警報機・遮断機ともになし）は24箇所となっています。

過去の事態や運転士の意見を反映し、毎年度1踏切道ですが、より安全性を高めるために第1種踏切道へ更新しています。

【全方位型の閃光灯、非常ボタン箱の改善】



従来までの一方向とは違い、全方位（360 度）から閃光灯が点滅しているのが判るように、また、夜間においても非常ボタン箱の位置が判るよう、反射型に更新しています。平成29年度は4踏切道において改善しました。

【関係機関合同での啓発・広報活動】



踏切障害事故を減少するため、また、このことを広く県民に知っていただくために、交通安全県民運動期間に合わせ、警察や交通安全協会、地域の皆様と合同で、啓発・広報活動を行っています。

平成29年度は2回実施し、ドライバーや通行者に、踏切事故防止のチラシ及びグッズを配布し、踏切事故防止の活動を行いました。

同時に、踏切道が通学路になっている地域の児童を対象に、交通マナーや踏切道を渡る場合のルール、踏切道で異常を発見した場合の対処法についての講習を行いました。

(3) 車両の安全対策

お客様に安全で安心してご乗車していただくために、法令を遵守し、日々、検査や点検を実施しています。

【車両の検査】



車両総合検査庫において、車両を安全に運転できる状態に保持するよう、法令で定められたサイクルを遵守し、検査の種類に応じて保守・点検を実施しています。

また、その記録の管理を実施しています。

【携帯用車イス スロープ】



車イスを利用される方等が安心してご乗車していただけるよう、全車両29両に搭載しています。



（４） 社員の教育、育成、管理

各部門において毎年度の教育・訓練の計画を立て、必要な能力の習得及び習得した技能の維持・向上のため、職制に応じた教育を実施しています。

また、日本鉄道運転協会様、中部鉄道協会様が主催する研修会・講習会に積極的に参加し、人材育成に努めています。

【運転士の養成】



鉄道運転士になるためには、国家試験である、「動力車操縦者試験」

- １．身体検査
- ２．適性検査
- ３．筆記試験
- ４．技能試験

の全てに合格しなければなりません。

当社では、平成 20 年から自社での養成を開始し、今冬において第 9 期生を

任命することができました。技能試験合格後は、指導運転士と 3 ヶ月間乗務し、乗務員指導管理者・運転管理者・安全統括管理者の合格をもらい、一人乗務となります。

【運転士・運転指令員の異常時訓練】



「出発信号機が故障、その他の事由のため使用できなくなった」を想定し、運転士ならびに運転指令間で取扱う指導指令式に関して訓練を定期的に行っています。

設備も整備・更新され、減多に起こりませんが、風化することなく、いつ発生しても、誰でも対応ができるよう教育・訓練を重ねています。

【運転士の資質管理】



点呼者は、運転士が出勤した際、健康状態の確認の他、アルコールチェックならびに眼鏡使用者には予備を携帯しているか等のチェックを対面点呼で、且つ、厳正に執行しています。

又、年2回の健康診断の他、平成29年度より、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査を開始しました。

【机上教育】



【車止め装置の教育】



【工具取扱い教育】



【福井鉄道と技術交流会】



技術部門においては、代用閉そく方式、新規となる機器の取扱い、相互乗入を行っている福井鉄道様と勉強会等を実施し、必要な情報の共有、必要な知識・技能の維持、向上に努めています。

【視覚障害者サポート研修】



お体の不自由な方に、安全で安心してご利用いただける鉄道会社に向けて駅でのお声がけの強化を図っているところですが、平成29年度は、社会福祉法人光道園様から講師を招き、駅構内・電車の乗降方法のサポートに関する研修を、駅務員・運転士を対象に実施していただきました。

【福井鉄道と異常時想定訓練】



平成28年3月27日から福井鉄道様との相互乗入を開始し、年1回、異常時を想定した合同訓練を田原町駅構内において実施しています。内容は、軌道信号機及び場内信号機が故障した場合、車両の入換について、双方の駅務員を対象に行い、且つ、運転指令員間の連絡体制についても確認しました。

【消防と異常時想定訓練】



年1回、関係機関合同での訓練を計画し、平成29年度は、嶺北消防組合様と踏切障害事故を想定した訓練を行いました。なお、当社では、運転士及びアテンダントに対して、開始5分前まで想定を全く教えない「ブラインド型」を取り入れています。

今回は、衝撃した自動車からの火災（隣接火災）、又、車内にはお体の不自由な方等、今まではなかった事態、想定外を設定して行いました。

(5) 安全対策事業

駅の安全対策、踏切道の安全対策に加え、下記の安全対策事業を行いました。

[勝山永平寺線]

- ・ 越前島橋駅構内 分岐器の重軌条化
- ・ 下志比駅～光明寺駅間 橋梁の腐食対策
- ・ 電柱をコンクリート製に更新（2箇所）

[三国芦原線]

- ・ 大関駅～あわら湯のまち駅間
レールの重軌条化、マクラギのコンクリート製、道床更換
- ・ 西別院駅～田原町駅間 橋梁の腐食対策
- ・ 電柱をコンクリート製に更新（8箇所）

平成30年度においても引き続き安全対策事業を進め、更なる安全性の向上に努めてまいります。



[えちぜん鉄道からのお願い]

輸送の安全の確保には、大規模な線路工事等の施工が必要となります。

そのため、列車の通らない深夜の時間帯に実施することになります。

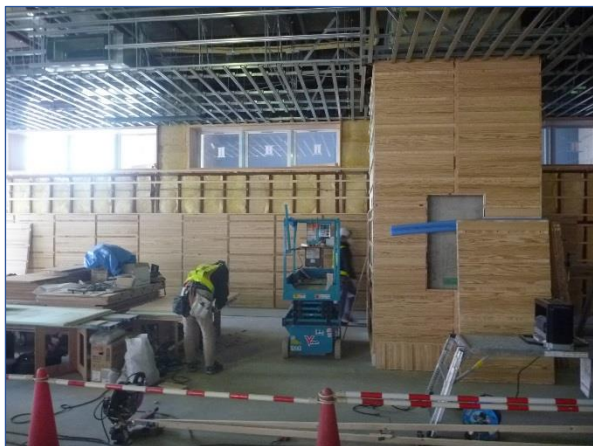
沿線の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



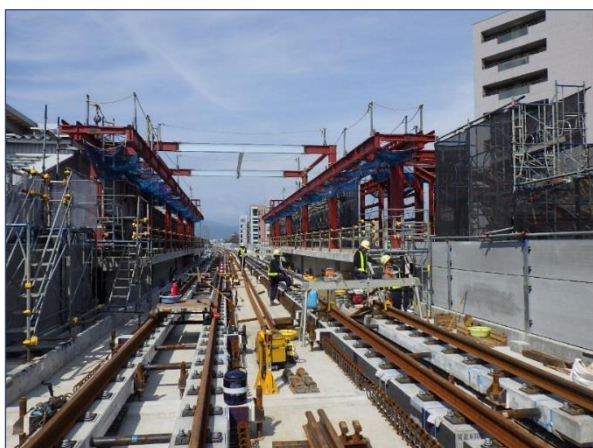
（６） 福井駅付近連続立体交差事業（えちぜん鉄道高架化事業）

平成30年6月に完成し、福井口踏切道の廃止に伴い、踏切障害事故・踏切支障が解消され、そのことによる列車遅延がなくなります。又、東西の交通がスムーズになり交通渋滞の解消や緊急車両においても時間短縮に繋がる等の効果が期待されます。

〔福井駅〕



〔新福井駅〕



〔福井口駅〕



6. お客様、沿線の皆様とともに

(1) 福井市あんしん見守りネットワーク連絡会

高齢者と子どもの見守り活動を行い、地域の中で支援を必要とされている高齢者と子どもを早期に発見し、安心して暮らせる地域社会を実現することを目的に活動しています。

[具体的な取組み事例]

市又は警察署から認知症高齢者が行方不明となった情報を得たときは、通常業務の範囲内での捜索に協力するよう努めます。

(2) 福井テロ対策パートナーシップ推進会議

官民一体となったテロ対策の推進による「日本一安全で安心な福井県」の実現に向け、警察・行政・民間事業者等が一体となったテロ対策組織を構築し、情報の共有・研修会・テロ訓練・不審情報の提供により、テロを起こさせない等の各種対策を推進しています。

(3) 鉄道警察隊友の会

鉄道警察隊の立場と職責をより一層理解し、よき理解者となって各種活動を支援激励し、さらに地域に密着した明るい秩序ある駅やその周辺の治安確保と維持寄与することを目的に活動を行っています。

[平成29年度の取組み]

- ・踏切事故防止に係わる啓発・広報活動（坂井市・福井市）
- ・犯罪抑止に係わる広報活動（車内及び仮福井駅）
- ・警ら活動（車内及び仮福井駅）

(4) 列車運行状況の提供



毎朝、えちぜん鉄道ホームページにおいて、午前6時・7時の2回に、列車運行状況を提供しています。

列車運行状況の提供はこの他に、

- ・列車に運休が発生した場合
 - ・複数列車に10分以上の遅れが生じた場合
- において、適時、運行状況を更新しています。

同時に、運転指令室からは、ネットワーク音声カメラにより、お客様にご案内する体制に努めています。

(5) えち鉄521プロジェクト



平成29年4月8日、勝山永平寺線永平寺口駅構内において、地元の東古市区まちづくり協議会様とタイアップしてイベントを実施しました。

永平寺中学校吹奏楽部の演奏や永平寺町物産市、除雪列車（テキ522-521号）と桜の撮影・車内見学、軌道モーターカーと綱引き、駅務員のお仕事体験等、各種内容で、約600人のご家族で賑わいました。

(6) お客様相談室

当社では、お客様相談室を設けています。時刻や運賃、お乗り換え等に関するご案内の他、お客様からのご意見・ご要望をうけたまわる窓口です。

お客様相談室	
受付時間	通年、午前8時から午後9時
電話番号	0120-840-508
FAX 番号	0776-52-8855

メールでのお問い合わせ・ご意見・ご要望につきましては、

「えちぜん鉄道ホームページ」

<http://www.echizen-tetudo.co.jp/>

の、お問い合わせ（メール）から、ご利用いただきますようお願いいたします。





えちぜん鉄道 2018年安全報告書

2018年9月